

## 平成30年度 貝毒プランクトン出現状況(8月7日現在)

男鹿半島戸賀湾で、貝毒の原因とされるプランクトン(渦鞭毛藻類 *Dinophysis*属)の出現状況を調査しています(4月から8月にかけて、計12回)。

今期12回目となる8月7日の調査では*Dinophysis fortii* と*Dinophysis acuminata*は出現せず、その他の*Dinophysis*属が出現しました。

調査 月日	水深	水温 (°C)	貝毒プランクトン出現量 (細胞数/ℓ)		
			<i>Dinophysis fortii</i>	<i>Dinophysis acuminata</i>	<i>Dinophysis</i> 属 その他
① 4/10	5m	9.4	10	5	0
	10m	9.4	5	0	0
	20m	9.3	5	0	0
② 5/2	5m	12.8	35	10	0
	10m	12.8	25	20	0
	20m	11.6	85	20	0
③ 5/8	5m	12.4	35	10	5
	10m	12.4	42	30	0
	20m	12.6	80	0	0
④ 5/15	5m	13.9	50	17	0
	10m	13.5	22	12	0
	20m	12.8	15	2	0
⑤ 5/22	5m	15.5	5	3	10
	10m	14.8	33	0	3
	20m	13.5	0	0	0
⑥ 5/29	5m	15.7	28	0	10
	10m	15.1	8	0	15
	20m	14.8	18	0	3
⑦ 6/12	5m	17.2	0	0	9
	10m	17.0	6	9	0
	20m	16.2	13	0	10
⑧ 6/21	5m	17.4	0	0	0
	10m	17.5	0	0	6
	20m	15.5	0	0	0
⑨ 6/28	5m	19.1	0	0	0
	10m	19.1	0	0	12
	20m	18.4	0	0	35
⑩ 7/4	5m	21.8	0	0	24
	10m	19.0	0	0	9
	20m	18.7	0	0	0
⑪ 7/17	5m	22.4	0	0	0
	10m	22.0	0	0	8
	20m	21.7	0	0	5
⑫ 8/7	5m	24.8	0	0	0
	10m	24.8	0	0	0
	20m	24.1	0	0	6

なお、警戒値は *Dinophysis fortii* については 200 細胞/ℓ (海水 1 リットルあたり 200 細胞) 以上と掲載されています (安本 1993)。